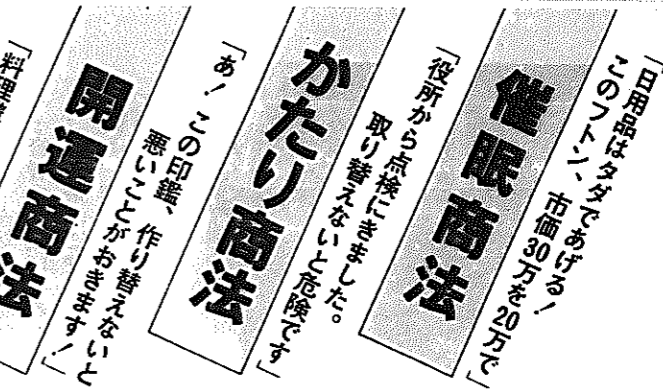


うまい話に用心

あなたをねらう悪質商法



ポイントカード一本で月収五万から二十万円——六月に入ってから新潟市を中心に、あて名書きの内職であたかも高収入を得られるかのようなチラシが配布され、県消費生活センターにも多くの相談が寄せられています。

この業者について調べてみると、あて先となっている新潟市の住所は借家で、会社の人はだれもおらず、届いたのはがきとめて静岡の本社に転送されるしくみ。本社もまた、いつ電話をしても留守番電話しか出ないとのこと。

この会社に申し込みのしがきを出す、まず「指導書」とともに指導料九千円の振込用紙が送られてきます。指導書といってもコピーした紙をホチキスでとじた簡単なもの。九千円を振り込むと、次に二十人分くらいの名簿とともに通信販売のカタログが送られてきます。本命はこれなのです。指導料と称してお金を取り、割引き制度があるといつて高いものを売りつけることを目的に、あて名書き

内職の看板を掲げ、皆さんからはがきを待っているのです。このような悪質な商法の特徴はとも簡単に契約できる点にあります。一枚のはがきや電話で答え「そうですね」、安売り会場での「買おうかしら」など、悪質な業者はいまいな返事もすべて承諾の返事にしてしまっています。そして、一度契約したものは、なかなか解約に応じません。

訪問販売や通信販売などで衝動的に購入契約をしてしまった場合、クーリング・オフ制度があります。これは契約した日から七日以内であれば、無条件で契約の解除ができる制度です。しかし、いろいろなケースがありますので、問題が起きたらできるだけ早く、市民生活課生活環境係(☎202)または県消費生活センター(☎285-4196)へご相談ください。泣き寝入りは禁物です。

被害に遭わないために



購入意思のないときははじめからきっぱり断わる

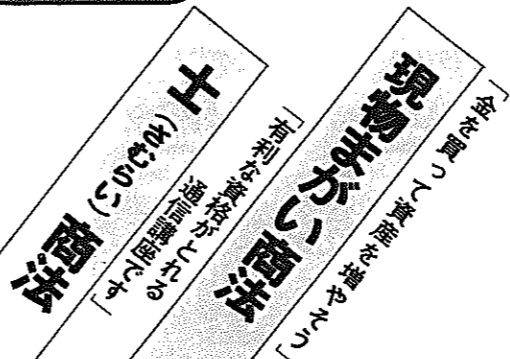
お金の支払いは慎重に全額支払いしない

迷ったときは、一人で決めずに、家族や知人に相談する

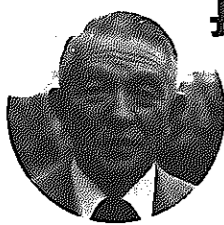
その気にさせようとする巧みな言葉に乗せられない

相談・問い合わせは

- 新潟県消費生活センター
〒950 新潟市新光町4-1 (県庁内)
(消費者110番) ☎285-4196
- 市民生活課生活環境係
☎202



表彰おめでとう ございます



長谷多吉さんに 運輸大臣表彰

自動車運送事業の振興と同業界の発展に功績のあった長谷多吉さん(砂押1・70歳)に、運輸大臣表彰が贈られました。

金子達己さんに 関東人権擁護委員連合会長表彰

人権擁護委員として功績のあった金子達己さん(古町・70歳)に、関東人権擁護委員連合会長表彰が贈られました。

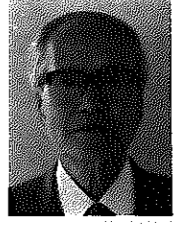
交通安全で 県知事などから表彰

交通安全思想の普及、啓もうに功績のあった次の人に、県知事表彰などが贈られました。

【県知事表彰】▷交通安全優良事業所(株)石沢電機工業 【県交通安全対策連絡協議会長表彰】▷交通安全優良事業所(有)松崎興業

市政短信

選管に猪股武雄さん 委員長に猪股武雄さん



六月に開かれた市議会定例会最終日の二十四日、任期満了に伴う選挙管理委員会委員の選挙が行われ、次の八人が同委員または同補充員に当選しました。

選挙管理委員会委員と同補充員
の選挙は、地方自治法の「選挙権を有する者の中から普通地方公共団体の議会で選挙する」という規定に基づいて行われたものです。新しい任期が始まった七月一日、第一回選挙管理委員会が開かれ、

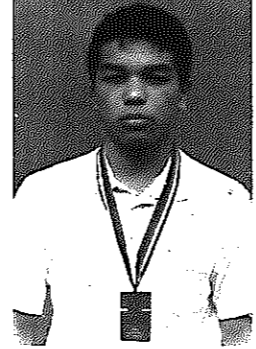
委員長に猪股武雄さんが当選し、猪股委員長は委員長職務代理者に小柳角五郎さんを指定しました。

(任期は四年。敬称略)

〔選挙管理委員会委員〕 猪股武雄(五六の町二・七十五歳) 塚本智教(館・六十四歳) 小池美与志(東雲場・五十八歳) 小柳角五郎(中大郷・七十三歳)

〔同補充員〕 第一順位 高地五郎(菱沼新田・五十八歳) 第二順位 渡辺徳威(西笠巻二・六十九歳) 第三順位 武田正雄(戸頭・六十七歳) 第四順位 牧野忠市(中塩俣・六十七歳)

世界ジュニアレスリング選手権大会 林雄一選手は6位に入賞



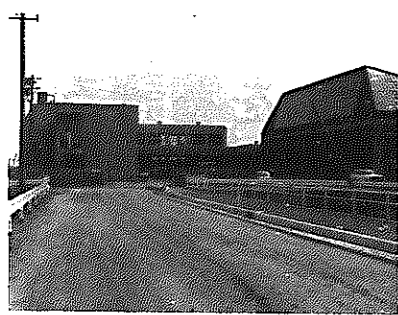
世界ジュニアレスリング選手権大会に出場した林雄一選手(古川・巻農高)は六位に入賞し、グレコローマンスタイルに参加した日本選手団の中では、林選手が最高の成績を収めました。

同大会は、七月十日から十七日までオーストリアで開かれていたもので、世界三十三か国から出場。初めての世界大会を経験した林選手は「外国の選手は、同じ体重とは思えないほど大きいし、強い。これからは筋力アップにも力を入れたい。たいへん勉強になりました」と話していました。

大通小が創立10周年



喜びの言葉を述べる児童



開校当時の小学校

七月十日、大通小学校(荒海寮一校長)で、創立十周年を祝って記念式典が行われました。

式典では、児童全員で「創立十周年おめでとう。創立当時は小さな、かわいい学校も、今年新たに六教室が増え、より大きく、立派になりました。明るく、たくましい子どもを目標に進みます」と喜びの言葉を述べていました。同校の建設は、黒埼町への教育

委託児童の解消と、北部地域の人口増に対応した教育施設の整備を目指して、昭和五十二年に着手。五十四年四月には校舎、体育館が完成し、市内十二番目の市立小学校として開校しました。

開校後十年を迎えた同校は、地域の皆さんの協力により、現在のような教育環境の整った学校に育つことができました。

基礎固めの十年を踏まえ、ますます発展することでしょう。

開校当時の全校児童数二百二十四人。現全校児童数二百七十四人。卒業生数二百二十六人。

文化スポーツ振興基金の 益金を運用しました

文化スポーツ振興基金の益金を次のとおり運用しましたのでお知らせします。(敬称略)

▽オリンピックソウル 原喜彦(上浦出身・レスリング・日本体育大学研究員) ▽世界ジュニアレスリング選手権大会(オーストリア) 林雄一(古川・巻農高) ▽北信越高校体育大会(福井県) 白根高校柔道部 ▽同(バレーボール) 小林克己(東大通) 佐藤大介(砂原乙) 須田克博(平濁) 渡辺明(新町乙) 高橋正光(上道湯) 荏原誠(戸頭・以上加茂高校) ▽同(林雄一) 古川・レスリング・巻農高